

1 実施校, 対象 (学年, 人数) 山ノ内町立 南小学校 3 学年 13 名

2 探求課題・活動実践の概要, ねらい, 目標等



(1) テーマ 「山ノ内町の SDGs 探検隊！」

(2) 目標 ・町探検をしながら自分たちの町の良さを見つける。
・環境のために自分たちができることを考える。

(3) ねらい 昨年度のりんご販売活動を通して感じた山ノ内町の良さをもっと見つけよう。
素敵な町を守るために私たちにできることはあるか考えよう。

①町探検にでかけて山ノ内町のすてきを見つけよう。②ゴミ拾いをして町をきれいにしよう。

③ごみを減らすためにどんなことができるかな。④町探検で見つけた山ノ内町の良さをまとめよう。

(4) ESD の視点, 育成する資質・能力

①構成概念・・・多様性 多種多様な現象が起きていること

連携性 互いに連携・協力すること

②資質・能力・・・他者と協力する態度

つながりを尊重する態度 (いろいろなものや人のおかげで自分がいることを感じる)

(5) 関連する SDGs 11 住み続けられる街づくりを

15 陸の豊かさを守ろう 14 海の豊かさを守ろう



(6) 探求課題・活動実践の概要

①世界で起きている問題について知ろう！ (SDGs って何？動画視聴)

・貧困 ・飢餓 (食糧不足) ・水不足 ・日本の食品ロス ・プラスチックごみによる環境破壊

②3年生でできることを考えよう。

・給食を残さず食べよう！ (毎日の給食チャレンジ) ・ゴミ拾いをして分別しよう。(クリーン作戦)
・4年生と一緒に牛乳のフタからはがきを作ろう。

③町探検をして山ノ内町の良さや SDGs ポイントを見つけよう (ソーラーパネル、共同浴場、果樹園)

④素敵な町を守るためにごみをもっと減らす取り組みを考えよう。(目を引くポスターを作りたい)

⑤自分たちの町の良さをまとめた SDGs マップを作ろう。

3 流れ (指導計画の概略)

4 月・・・活動の見通しを立てる。NHKの番組視聴。

5～9月・・・3年生だけでゴミ拾い作戦をして分別して考える。

6月・・・4年生と牛乳のフタではがきを作る。

6～11月・・・町探検をしながら山ノ内町の良さや SDGs ポイントを見つける。

9月・・・ESD 体験学習で志賀高原まが玉の丘コースを歩く。自然の豊かさを知る。

10月・・・給食センター・スーパー (リサイクルコーナー) の見学

11月・・・ごみを減らすためにポスターを作って貼る。

12月～1月・・・自分たちの町の良さをまとめた SDGs マップを作る。

2月・・・学習発表会で報告しよう。(お家に人に？全校の人に？)



4 効果, 反応, 所感

昨年度のりんご販売の体験から、山ノ内町 (南小学校区中心に) の良さを見つけたいと願い、町探検を通して町の良さなどを探してきた。南小学区には温泉や果樹園が多いことや、ソーラーパネルなどがあることを知り、豊かな水源がないと温泉や果樹園は作れないことから、水や電気は有限性があることに気づいてきた。また、そういった豊かな自然や住みやすい街を守るために、路上に落ちているゴミ問題をなんとかしたいという思いが強まった。昨年3年生がゴミについて学習していたことや「応援！みんなのチャレンジ！」で川のごみ拾いをしている小学生の存在を知ったことから、「自分たちもゴミ拾いをしたい。」と願い、ゴミ拾い活動を始めたが、路上のごみが思った以上に多いことから、どうしたらよいかを考えた。はじめは「ポスターを貼るだけではゴミは減らない。」という意見が多く、隔週でゴミ拾い作戦をすることでごみが減ってきているように感じ、「自分たちが拾えばいい。」と考えていたが、町探検をする中で昨年3年生が作成したごみのポスターを見つけ、「やっぱりポスターを貼ると、自分たちみたいに見える人がいて、ゴミをもっと減らせるかもしれない。」と考えが変わっていった。そこで、自分たちが拾ったごみを絵にかいて貼り合わせたポスターを作製した。ポスターに入れて伝えたい言葉も「なんでごみを捨てたらだめなのか、考えてもらえるような言葉にしたい。」という意見が出て、子どもたちの中で少しずつ環境への関心が高まっているように感じている。